

領域探査
デザイン
と古びる

2009.01.11(sun) 14:00集合 16:00-17:00式典



砂の廃墟 封印式。

二〇〇九年一月、九段下テラスは砂の廃墟に還りました。

私はここにいなかった。コンクリートの塊も、人が笑った形の痕跡も、いつか風化し砂になる日に。

コンセプト

もともと扉なんかなかった。害獣に悩まされたし、不審者の侵入にも二度遇った。それでも排気ガスに晒されて風化しかけたこの部屋は、暫くの間、私達の秘密基地だった。その大切な時間を繋ぐため、いつも何かと戦った。ある日、床下から乳母車と子供用自転車と、そして古い椅子を発掘した。ミッキーマウスの小荷物掛けは鼻を突き出して壁に居た。それらの旨い難い存在感に訪れる人を魅了した。だがかつての主人の封印を解いた私達は、築八十余年の場所の持つ尊厳を冒したのかもしれなかった。

九段下ビルの一 corner を短期借受けし上で広く一般に公開するための企画を連発して1年半が経つ。ついに借受期間終了の時が来た。私達は期限付きであることの意味を理解していたし、建物に会いに来た人々と何度もお別れを言った。ここに私達は一連の企画を全うし、一度再生したこの場所を風化に向けて解き放つ準備を整えた。

！さて、地権者、開発業者の皆様へ。私達の活動はビル解体までの有効活用の立場であり、決して開発を長引かせる質のものではないことを証明します。

！テナントの皆様へ。事務所としての静けさを一時奪ったことをお許しください。しかしながら、共用部の使用に課せられた制約が、逆に企画の検証性に合致しました。！そして、当該縦割り区分本来の持主様へ。始まりは、歴史的価値と廃墟美を併せ持つこのビルの存続を強く願いながらも、ご自身では空室を使うメリットがなかった貴殿にとても共感したからでした。他者が立ち入れぬ、ご自身が決断すべき時間の限界近くまで一緒に過ごさせて頂きましたこと、一生忘れることは無いでしょう。私は思う存分、自分を試しました。どうかこの地の将来像に有効な九段下ビルの在り方を選択してください。

これは、砂の廃墟に還った「九段下テラス」と呼ばれた場所を封印して風化を待つ儀式です。解体の時まで私達がここに居ることは無いでしょう。心無い人の手で荒らされたり、再びこの場所を自覚めさせてしまう事態が無いことを願います。解体の日のプログラムは既に仕込んであることをお忘れなさいませぬように。「砂の器化計画」に賛同して参加、来場した数百人が証人です。

式典スケジュール 於:九段下テラス www.ryookitansa.com

2009.01.11 (sun)

- | | |
|-------|--|
| 14:00 | 九段下テラス集合 自由時間、各自やり残したことをする。 |
| 16:00 | 式典開始・記録撮影 床下に乳母車、自転車を納める。 テラス側の増設扉を外す。 |
| 17:00 | 乾杯! |
| 17:30 | 解散 |

領域探査
デザイン

中古スケルトン賃貸普及プロジェクト



九段下テラス

千代田区神田神保町3-4-1 九段下ビル3F

【交通】

東西線「九段下駅」5出口 1分

都営線「神保町駅」A2出口 2分

企画運営 / 領域探査デザイン

目黒区目黒2-11-14 大鳥ビル53号

tel / fax 03-6662-5350

shindo@ryookitansa.com

2009.01.07